

9月定例報告

市長総括説明から

8月31日、平成24年第3回市議会定例会を開会しました。ロンドンオリンピックピック銅メダルの井上香織選手への声援のお礼や、京都府宇治市の災害復興支援などの報告をした後、提出議案などを説明しました。その概要をお知らせします。

《主な施策》

■安全に安心して暮らせるまち

○東日本大震災により発生した災害廃棄物の受け入れ

国は、岩手県の可燃物・木くずおよび宮城県の可燃物の受け入れ調整を行う自治体を16都府県に限定しました。

しかし、兵庫県はそれに含まれなかったため、本市は、宮城県の災害廃棄物の受け入れ検討を終了しました。

○豊岡消防署城崎分署庁舎

新築整備

豊岡消防署城崎分署庁舎は、老朽化が激しく、敷地が狭いため、旧城崎幼稚園跡地に移

転し整備します。今議会に、同敷地測量と基本設計の予算を提出しています。

○ポリオ定期予防接種の不活化ワクチンへの移行

9月からポリオの定期予防接種が、従来の経口による生ワクチンの2回接種から、注射による不活化ワクチンの4回接種に移行します。また、集団接種から協力医療機関での個別接種に変わります。

○歩キングコースの整備

歩いて暮らすまちづくりを進めるため、旧市町に1カ所ずつ、安全で歩行距離の目標設定が可能な歩キングコースを整備します。

○市立デイサービスセンター

の民間移管の実施方針

全ての市立デイサービスセンターを民間移管します。認知症の方の利用が約8割を占めている点を重視し、環境が変わらないよう、現指定管理者への移管を考えています。

○障害者虐待防止センターの開設

10月から障害者虐待防止センターを開設し、業務は豊岡市社会福祉協議会に委託します。

■人と自然が共生するまち

○コウノトリ野生復帰

「円山川下流域・周辺水田」は、7月にラムサール条約湿地として登録されました。県内初の登録であり、河川名の入った湿地登録は日本で初めてです。これは、コウノトリ野生復帰をシンボルとした自然再生が評価されたものと考

えています。

また、「円山川」は、アジアでの湿地管理の最良の実践例として、「ウエットランド・グローブ賞」を受賞しました。

○一般廃棄物処理基本計画の見直し

一般廃棄物処理基本計画を、平成18年に策定しましたが、予想以上の人口減少や経済情勢の低迷、ごみ量の減少などを受け、見直しを行うこととし、計画案を策定しました。

計画の目標期間は、平成24年度から平成38年度までです。平成38年度と平成23年度と比較して、ごみ減量の数値目標は14パーセント以上削減、最終処分量は10分の1以下まで削減、また平成38年度の再生利用率は27パーセント以上にすることを目指します。

○豊岡市水道ビジョンの策定

今後の水道を取り巻く状況に対応するための目指すべき将来像や目標を設定した、豊岡市水道ビジョンを策定しました。

■持続可能な「力」を高めるまち

○但東北部温泉の新泉源掘削事業の進捗状況

たんたん温泉「福寿の湯」の新たな泉源掘削工事が完了しました。10月中に供用を開始したいと考えています。

○アンテナショップ

昨年7月に東京・有楽町にオープンしたアンテナショップ「コウノトリの恵み豊岡」が1周年を迎えました。

1年間の総売上高は2040万円で、運営事業者においては878万円の純損失となっています。

今後も、売上げ増につながる取組みの展開を要請し、来店者などに、豊岡の魅力を発信し続けます。

○「(仮称)カバン・アルチザン・スクエア事業」

宵田商店街の空き店舗を活用する「(仮称)カバン・アルチザン・スクエア事業」は、

市の中心市街地活性化基本計画に位置づけた事業です。事業主体は豊岡まちづくり株式会社で、かばんのセレクトショップやパーツショップ、かばん職人育成学校などの準備が進められています。

○南庁舎別館の活用事業

今議会に、土地・建物の取得、実施設計等に係る費用の補助の予算を提出しています。

○中川地区の工業用地の買い戻し

本用地は、平成16年に、出石町が日本シール工業株式会社と新工場用地として売買契約を締結しましたが、同社から、新工場建設中止を決定したと報告を受けました。市は、契約書に基づき契

約を締結しましたが、同社から、新工場建設中止を決定したと報告を受けました。市は、契約書に基づき契

約を締結しましたが、同社から、新工場建設中止を決定したと報告を受けました。市は、契約書に基づき契

約を締結しましたが、同社から、新工場建設中止を決定したと報告を受けました。市は、契約書に基づき契

を解除し、当初の売買価格と同額で土地の買い戻しを行うことにしました。

○出石の旧コウノトリ

グランドホテル

旧コウノトリグランドホテルは、平成21年以降、休業状態にありましたが、8月に株式会社インプラントフォーラムから、ホテルとして再建し、来年1月にはオープンしたいとの報告を受けました。

○コウノトリ但馬空港の

冬ダイヤ

昨年の冬ダイヤは、降雪時の安全運航確保の観点から、午前便を約20分繰り下げ、午後便を約1時間半繰り上げる改正がされました。利便性が著しく低下し、利用率は対前年比で12・7ポイント減少しました。

市は、次期冬ダイヤ改正で利便性が低下しないよう、要望活動を実施してきました。この結果、11月と3月のダイヤは、現在の夏ダイヤに準じたものに改正される見込みです。

しかし、12月から2月の午後便は、前期の冬ダイヤよりさらに1時間の繰り上げが予

定されており、引き続き要望していきます。

○北近畿タンゴ鉄道に対する

支援

北近畿タンゴ鉄道は、地域住民の暮らしを支える社会基盤や多様な交通ネットワークの維持という観点から重要であるため、市は必要な支援を行ってきました。

しかし、昨年度は過去最高となる約8億円の営業損失を計上し、最も重要な安全・安心な運行に支障が出かねない状況となっています。

このため、京都府から、沿線自治体が施設・設備整備費を負担し、安全運行に必要な設備投資を10年間で計画的に実施するとの提案がなされ、市はこの支援に関する予算を提出しています。

なお、京都府に対し、今後、北近畿タンゴ鉄道の経営体制の刷新に向けた具体的努力が見えない限り、市の予算執行は留保する旨を伝えていきます。

○魅力ある景観形成の取組み

「豊岡らしい風景」を守り、育て、さらに磨きをかけて次世代に継承し、魅力と活力ある豊岡を実現するため、豊岡

市景観計画を策定しました。11月には、豊岡市景観条例を施行します。

■未来を拓く人を育むまち

○幼・保のあり方計画の

進捗状況

「豊岡市における幼稚園・保育所のあり方計画」に基づき、豊岡地域において、五荘幼稚園と奈佐幼稚園の再編、八条地区・港地区・三江地区の認定こども園の開設、豊岡めぐみ幼稚園・豊岡ひかり幼稚園・田鶴野幼稚園・新田幼稚園・中筋幼稚園・神美幼稚園の2年保育の導入など、来年度の開園に向けた取組みを進めています。

○日高等学校給食センター

アレルギー専用調理室増築

「学校給食施設のあり方計画」では、学校給食施設の豊岡・出石・日高の3施設への再編と併せて、アレルギー対策も進めることとしており、日高施設にアレルギー専用調理室を増築するとともに、関連設備の整備を行います。

○小学校水泳プールの改築

耐用年数の30年を経過した老朽プールを保有する学校は14校あり、今年度は竹野小学

校のプールを整備します。

今議会に来年度整備する田鶴野小学校と新田小学校のプールの実施設計の予算を提出しています。

○「とよおか家族の日」

10月8日を「とよおか家族の日」として制定し、教育の原点である家庭の教育力向上を目指し、子どもたちの健やかな育ちを支援していきたいと考えています。

■人生を楽しむ

お互いを支え合うまち

○市民プラザの指定管理
豊岡市民プラザを指定管理者による管理に移行するため、今議会に豊岡市立豊岡市民プラザの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案を提出しています。

○NOMOベースボールクラブ

元メジャーリーガー野茂英雄氏が、プロ野球や社会人野球を夢見る若者のために設立した野球チーム「NOMOベースボールクラブ」が、年内をめどに本市に本拠地を移転します。球団事務所を城崎大会議館内に設置するのに必要な改修工事やバッティングゲージの購入等、練習環境の整

備を行います。

■市政の運営

○(仮称)豊岡市市有財産売却

貸付キャンペーン

市で管理している土地や物品等、また、土地開発基金や土地開発公社が保有している土地などで活用計画が定められていない財産について、売却や貸付による自主財源確保を目的に、秋の大キャンペーンを実施します。

旧給食センター跡地は、6月に1億1510万円で売却しました。

○新庁舎建設事業

現本庁舎は、3階部分の解体工事、外壁上材の撤去工事が完了し、1、2階の外壁補修工事、3階部分の復元工事へと進んでいます。また、新庁舎は、免震装置の取付けなど地下免震階の基礎工事が完了し、地上階の躯体工事に着手しています。

○新庁舎建設事業に係る

備品購入

納品までに期間を要する備品のうち、まず、新庁舎3階から6階の執務室のカウンターなどを購入することとし、契約の議案を提出しています。